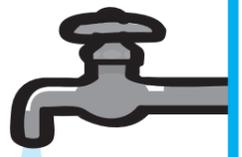


熊本地震から5年、 上下水道を守る災害対策とは



もしもの備えて
大事なんです

熊本市 Mさん(40代主婦)



熊本市では
災害などに備えて
いろんな準備をしています

熊本市にお住まいの主婦Mさんが
上下水道局の取組み等について聞きました。

平成28年の熊本地震から5年。大きな被害を受けた上下水道施設はライフラインとしての重要性が再認識されました。熊本市では、施設の耐震化等の防災対策、マンホールトイレの整備等の減災対策等を進めています。飲み水の備蓄や雑用水のため置き、簡易トイレなど、ご家庭でできる災害への備え、この機会にもう一度見直してみませんか。

～国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」受賞～ マンホールトイレの整備

被災時の避難所等でのトイレ確保のため、マンホールトイレの整備を進めています。熊本市地域防災計画で避難所として位置づけられている、市内の小・中学校および防災拠点のうち、下水道区域内にある施設を対象に設置を行っています。

熊本市内の
小中学校
48校に **240**基を整備

※令和2年度末時点



ご家庭での備え もしものに備えて、 飲み水などの備蓄を！

飲料水は、大人で1日あたり3リットルが必要とされています。3リットル×家族の人数×3日分を目安に飲み水の備蓄をおすすめします。その他にも…

- お風呂の残り湯も普段からため置きを。
- 防災グッズの中に折りたたみ式の水タンクなどの容器があると便利です。
- トイレの備えも重要です。段ボール製の非常用トイレ等が市販されています。



× 3日分



～断水時に4m³の水道水を確保～ 貯水機能付給水管の整備

貯水機能付給水管は、平時は通常の給水管ですが、地震等災害の断水時はタンクの容量分4m³の水道水が確保され非常用の飲料水として利用できます。

熊本市内の小中学校に
41基を整備

※令和2年度末時点



熊本市上下水道局前に設置された貯水機能付給水管

その他の災害対策

応急給水に必要な設備や資材の整備および確保、停電時に水道設備へ必要な電力を供給する非常用発電設備の整備、各種訓練の実施、災害時の応急復旧及び支援に関する協定の締結などの対策を継続的に実施しています。



応急給水塔と給水車の整備



資材の確保



非常用発電設備の整備



応急給水机上訓練



災害時の応急復旧活動に関する協定



下水道BCP訓練



水道管・配水池などの耐震化

上下水道局の代表電話を統合します : 問い合わせ先と電話番号が変わりました

代表電話番号と料金課お客さまセンターの電話番号を5月より統合し、「上下水道局お客さまセンター」とします。

4月まで
代表電話 ☎096-381-1133
料金課お客さまセンター ☎096-381-1118

統合

5月から
上下水道局
お客さまセンター ☎096-381-1118

「上下水道局お客さまセンター」は、水道料金・下水道使用料に関するお電話を承るほか、代表電話としての役割を担います。なお、5月以降も当面の間は、現在の代表電話(381-1133)におかけいただいた場合も、お客さまセンターへ自動転送されます。

3月31日まで

水相談課
管理班
サービス班
漏水防止班
老朽管対策班
管路維持課
水道維持班
渉外工事班
下水道保全班
下水道維持班

4月1日～の新しい問い合わせ先

水道維持課
管理班 ☎096-381-5610
漏水防止班 ☎096-381-5600
老朽管対策班 ☎096-381-5609
保全班 ☎096-381-6331
渉外工事班 ☎096-381-6335
下水道維持課
指導班【新設】 ☎096-381-6336
保全班 ☎096-381-6330
維持班 ☎096-381-6333

※ホームページ上に記載されている連絡先やお問い合わせ先のお電話番号は、順次表示の変更を予定しています。